

憲法変えるな 政治変えよう

「自衛隊を明記するだけ」?
海外での武力行使無制限に

安倍首相はこれまで、自衛隊を海外に派遣してきました。それでも、イラク戦争やアフガン戦争のような武力行使を目的にした戦闘には参加できない制約、制限がありました。憲法9条2項（「戦力不保持」）があるからです。もし、憲法9条に自衛隊の存在理由などを書き加えたら……9条2項は空文化し、海外での無制限の武力行使が可能となります。



改憲右翼団体「日本会議」提案を丸飲み

「速やかに九条二項を削除するか、あるいは自衛隊を明記した第三項を加えて二項を空文化させるべき」
（小坂美・日本政策研究センター研究部長・『明日への選択』昨年11月号）
*日本政策研究センター代表は日本会議の政策委員。

●戦力不保持を空文化

首相の9条改憲発言（5月3日）は、改憲派団体の集会へビデオメッセージとして寄せられました。改憲右翼団体「日本会議」ブレインが9条に自衛隊を明記する改憲論を発表、安倍首相がこの提案を丸飲みしたものです。

内閣改造 9条改定へ執念示す

内閣改造・自民党役員人事（3日実施）には、安倍首相の9条改定への執念が込められています。自民党は改憲原案を秋の臨時国会に出、来年の通常国会での改憲発議を狙っています。党役員人事では改憲案のとりまと

め役である高村正彦・副総裁を続投させました。高村氏は改憲スケジュールについて「目標が絶対的なものではないが、最初からそれをやめるといっていいことでもない」とのべました。首相は「議論をさらに深めていく必要がある」と表明しました。

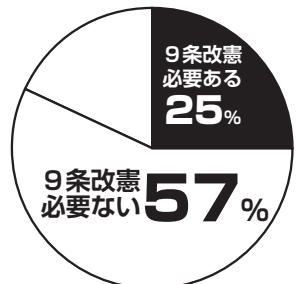


（左から）自由党・小沢一郎 共同代表、民進党・蓮舫代表、日本共産党・志位和夫委員長、社民党・吉田忠智代表 6月8日

9条改憲反対で一致

共産、民進、自由、社民の4野党は安倍首相の改憲宣言に対し、「安倍政権の下での憲法9条改憲に反対する」ことで一致。次期総選挙については、安倍政権打倒をめざして「できる限りの協力」、「協議の加速」などに合意しています。

4野党党首会談



NHK世論調査(4月29日)より

「9条は日本の平和に役立つ」という人はNHK調査で82%でした。平和憲法を高く評価しています。

「9条改憲必要ない」過半数

現実を憲法に合わせよ

河野洋平元衆院議長・元自民党総裁 「憲法は現実に合わせて変えていくのではなく、現実を憲法に合わせる努力が先ではないか」(都内の講演で)

日本共産党

改憲をあとおし——公明・維新

●「安倍首相は意欲的な提案をした。…国民の理解を伴って合意がつけられることが望ましい」(公明・山口代表、5月3日街頭演説)

●「(改憲の)先兵として戦っていく役割を担いたい」(維新・小沢党憲法改正推進委員会会長・5月6日「毎日」)